

会 議 記 録 (1)

会議名称	第4回北本市第六期障害福祉計画・第二期障害児福祉計画策定委員会
開会及び閉会日時	令和3年2月16日(火) 午前10時から午前11時まで
開催場所	北本市役所 会議室3E・3F
議長氏名	委員長 遅塚昭彦
出席委員(者)氏名	遅塚昭彦 鈴木洋行 赤沼幹江 真田牧人 関口暁雄 坂本輝之 増田絵美 曾根康乃 金綱弘 江口誠
欠席委員(者)氏名	
説明者の職氏名	障がい福祉課長 吉田 障がい福祉課主査 福田
事務局職員職氏名	障がい福祉課長 吉田 障がい福祉課主査 福田 障がい福祉課主査 河田
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) パブリック・コメントの結果について (2) その他 4 閉会
配布資料	次第 資料1：北本市第六期障害福祉計画及び第二期障害児福祉計画(案) 資料2：北本市第六期障害福祉計画及び北本市第二期障害児福祉計画(案)に対する意見一覧(案) 〔パブリック・コメント結果の公表〕 資料3：北本市第六期障害福祉計画及び北本市第二期障害児福祉計画(案)に対する意見一覧 〔自立支援協議会の意見聴取結果〕

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
遅塚委員長	<p>1 開会 配布資料について確認</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事 以降、議事進行</p> <p>会議の公開について。(公開承認) 議事の「(1)パブリック・コメントの結果について」について、事務局より説明願います。</p>
事務局	(1) パブリック・コメントの結果について説明。
遅塚委員長	<p>パブリック・コメントにより計画(案)を修正するのは3か所で良いか。</p> <p>1つ目は『資料2の番号9』について、35ページの日中活動系サービスの見込量確保のための方策等の1番目の○の文章を修正するのか。</p> <p>2つ目は『資料2の番号11』について、39ページの居住系サービスの見込量確保のための方策等の1番目の○の文章を修正するのか。</p> <p>3つ目は『資料2の番号12』について、51ページの障がい児支援の見込量確保のための方策等の3番目の○の下に文章を追加するのか。</p>
事務局	そうである。
遅塚委員長	<p>委員より、意見・質問いかがか。</p> <p>パブリック・コメントについて意見が多い。市民は障がい福祉に関心があり、しっかり勉強されていると思われる。</p>
金網委員	<p>『資料2の番号17』に、「感染症や災害時の取り組みについては、第3次北本市障害者福祉計画において記載をしていきたいと考えます」とある。コロナ禍で緊急事態宣言が発令されており、移動の制限があるため、直接会って話ができない人も多い。障がい者、障がい児の方は私たち以上に影響を受けていると考えられる。利用できていた施設が、現在は利用できないことを想定しなくてはならないのではないか。コロナの影響で孤立させないために、例えばZoomなど直接会わなくてもコミュニケーションが取れるような何らかの方策を考えるべきではないか。そのあたりも考慮してほしい。</p>
遅塚委員長	市として何か方策を考えているのか。計画に記載できることがあるか。
事務局	<p>市としては、年度末までにWeb会議のシステムで相談できる体制を整える予定である。障がい福祉の分野では、遠隔手話通訳を整備する。コロナ禍において障がい福祉サービスを継続させることは重要な課題と考えており、今後も市ができる支援は何か考えたい。本計画ではコロナに関して、前回の策定委員会で話し合ったように、市長の巻頭言で触れる予定。北本市の場合は、障害者計画と障害福祉計画が別になっている。コロナに関しては、来年度の障害者計画の見直しの際に取り扱いたい。</p>

会 議 記 録 (3)

	発 言 内 容
遅塚委員長	We b 会議システムや遠隔手話通訳について計画に記載出来ると良い。
坂本委員	本計画を見ると、障がい者の生活において安心して社会参加をするための支援が中心に記載されている。今週の土曜日に地震があったが、どんな支援をして欲しいかは人それぞれである。聴覚障がい者は耳が聞こえないため、行政・近隣の支援が必要である。障害福祉計画では災害について記載がない。災害時に支援が必要となるが、記載されていないと良いのか。
事務局	<p>災害時の対応は、市としても考えている。今年度、聴覚障がい者には災害時の支援パンダナを配布した。また聴覚に障がいのある方が災害時に情報を取得できるように、市の防災メールで情報を発信している。</p> <p>今回の計画は、私たちとしても心苦しい所であるが、国の基本指針に基づいて策定している。基本的には、障がい福祉サービスの今後3年間の見込量とその確保のための方策について、定めているものである。</p> <p>災害時の障害施策については、来年度見直す障害者計画で盛り込む予定である。他市では、障害福祉計画と障害者計画、この2つの計画を一体的に作成しているところが多い。今年度、災害対策を記載しているところは、障害者計画で扱っている。北本市は障害者計画の見直しが来年度であるため、災害や感染症対策は次年度で触れていきたい。</p>
遅塚委員長	今回の障害福祉計画は、障害者総合支援法によるサービスとその見込量について策定するもの。災害などについては、障害者計画で取り扱う。
金綱委員	策定委員会に参加しての感想だが、今回の計画・資料はすごいと思った。障がい福祉の知識と経験の結集ではないか。この計画は完全でなくとも、市と市民が、より一層お互いに努力して行き、北本の障害福祉が一番といわれるような計画になると良い。
遅塚委員長	<p>意見は出尽くしたようなので、パブリック・コメントに対する市の考え方を踏まえて計画案を修正する。軽微な修正については、委員長と事務局で決めることについて了承して欲しい。</p> <p>今回検討してきた障害計画は、令和5年度が最終年度。色々な情報があれば、令和3～4年度内に市へ伝えると良い。</p>
事務局	<p>(2) その他</p> <p>今回の委員会をもって、予定していた全ての日程が終了した。1年間に渡り、皆様の貴重な意見をいただき、無事に計画案を策定出来たことに感謝する。承認いただいた計画案で市長決裁を経て、計画策定としたい。</p>

会 議 記 録 (4)

	発 言 内 容
遅塚委員長	事務局からの説明で何か意見があるか。
各委員	(意見なし)
遅塚委員長	意見がないようなので本日の策定委員会の議事は終了する。 議事進行を事務局にお返しする。
	4 閉会
鈴木副委員長	これにて閉会する。